

## はじめに

広島港出島地区廃棄物等埋立処分場は、広島県の西部地域から発生する廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全や県内産業の発展に貢献する施設として平成26年3月に完成し、同6月から廃棄物の受入を開始しました。

この処分場は、廃棄物の受入から水中への投入までを一貫して屋内で作業を行う方式で、主な施設には集じん機などを設置し、大気中に廃棄物を飛散させない環境に配慮した全国に例のない施設です。

## 主要施設の概要

### ■ 受入施設

廃棄物の受入は、全て屋内

管理棟	鉄骨造平屋建て	延べ床面積	190.09㎡
計量棟	鉄骨造平屋建て	延べ床面積	107.03㎡（トラックスケール2基）
受入施設	鉄骨造2階建て	延べ床面積	5,304.04㎡（見学者室、検査室を含む）

環境保全設備：集じん・脱臭設備，換気設備，エアカーテン，シートシャッター，洗車設備



受入施設外観



計量棟



受入施設内部



蛍光X線分析装置（検査室）

### ■ 余水処理施設

水環境を守る

処理方式	凝集沈殿方式+砂ろ過方式
処理能力	1,300m <sup>3</sup> /8時間
放流先	公共下水道



余水処理施設